

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○防災体制及び危機管理体制の強化
主な取組	防災危機管理センター棟(仮称)整備事業		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・防災及び危機管理の拠点となる「沖縄県防災危機管理センター」を整備し、同センターを中核に、様々な危機事象に対し迅速かつ的確な危機対応が可能となる体制の構築を図るとともに、県民や本県を訪れている観光客への迅速な情報提供に向けた「沖縄県防災情報システム」の拡充・強化や市町村防災行政無線等の整備を促進するなど、防災体制及び危機管理体制の強化に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
防災及び危機管理の拠点に必要な機能を備えるよう基本・実施設計を行い、文化財調査等を経た後に、沖縄県防災危機管理センター(仮称)建設本体工事に着手し、防災体制及び危機管理体制の強化を図る。	県	災害対策本部室、災害時における本庁舎機能の継続、防災や危機管理に関する研修・交流スペース等の機能を備えた防災危機管理センター棟(仮称)の整備		
		実施設計進捗率	建設工事進捗率	
		100%	40%	96%
担当部課【連絡先】	総務部管財課	【 098-866-2106 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 防災危機管理センター棟 (仮称) 整備事業				予算事業名 防災危機管理センター棟 (仮称) 整備事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	37,017	75,025	県単等	直接実施	354,920
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
令和4年度から継続している実施設計を完了させた後、建設工事の着工に向けた手続きを実施する。				建設予定地において既設駐車場等を撤去した後、埋蔵文化財の調査を実施する。		

活動指標名	実施設計進捗率		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	100%	100%	11%	40%	27.5%	大幅遅れ	昨年度から継続している実施設計を9月末に完了させた。 10月に建設予定地において文化財調査の試掘調査を行ったところ、文化財が発見されたため、当該年度に計画していた建設本体工事の着工は延期となった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>年度の途中で文化財が発見されたことから整備スケジュールを大幅に見直しが必要になった。 令和5年度の実績は、実施設計及び試掘調査のみで、建設本体工事の着工は延期となった。 令和6年度以降においては、見直し後のスケジュールに基づき事業の進捗を評価する必要がある。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○運用開始時期が遅れないよう、工事発注形態の検討及び適切な工期の設定を行う。 ○仕様については、施工性を考慮し、想定される資材調達先への納期確認、相当のグレード設定、既製品・規格品等の採用を検討する。 ○行政棟等利用者へ工事内容及び制限内容の事前周知を行う。 ○文化財調査の実施手法について各所管課と協議を進め円滑に文化財調査を行えるようにする。</p>	<p>左記の改善案については、概ね実施設計に反映したものの、文化財の発見に伴い、スケジュールの大幅な見直しを行い、当初計画及び本改善策は改めて令和7年度以降に実施する予定である。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	事業の遅延要因となる地中埋設物の早期把握に努め、建設事業の早い段階で必要な対応を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	防災危機管理センター棟(仮称)建設本体工事に早期着工できるように、関係機関と調整を行い埋蔵文化財調査を円滑に実施する。